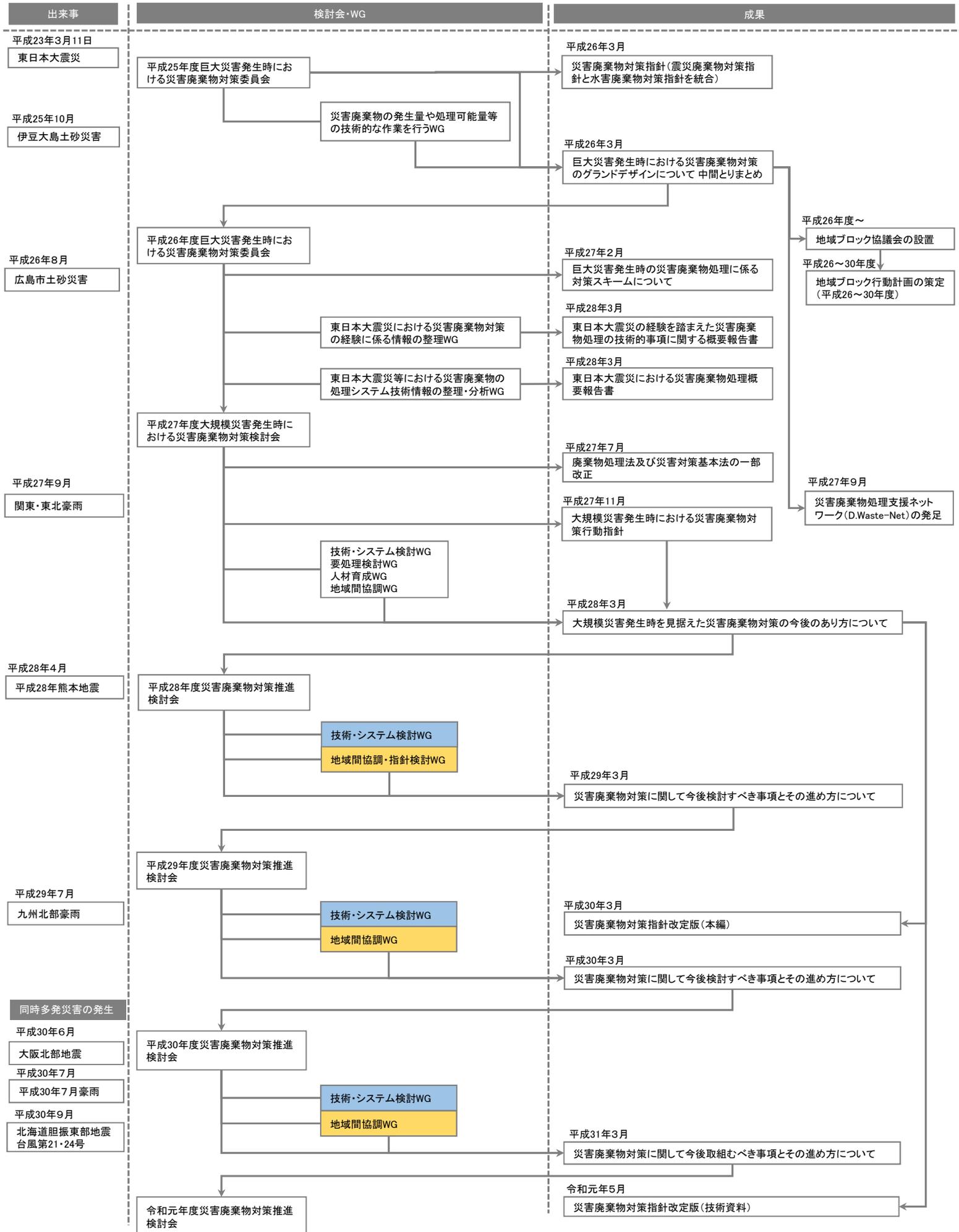


# 災害廃棄物対策推進検討会等のこれまでの取組・成果

資料5-1



# ワーキンググループの取組・成果

## 技術・システム検討ワーキンググループ

## 地域間協調ワーキンググループ

平成28年度

平成29年度

平成30年度

【検討事項】災害廃棄物発生原単位の検証

- 災害廃棄物発生原単位の検証
- 災害廃棄物の処理実績等のデータ蓄積

【課題】

- 継続的な災害廃棄物発生原単位の蓄積が必要

【検討事項】首都直下地震を想定した災害廃棄物対策技術・システムの検討

- 道路啓開計画等の復旧計画を考慮した仮置場の選定方法の検討
- 災害廃棄物の進捗管理に必要な情報の管理方法の検討

【課題】

- 首都直下地震の初動対応(仮置場の確保、収集運搬体制の確立等)の検討が必要

【検討事項】処理困難な災害廃棄物の把握及び情報共有手法の検討

- メッシュ単位での処理困難物等の発生ポテンシャルの推計手法の検討
- 処理困難物の生活環境や処理等への影響度の整理及び情報共有手法の検討

【検討事項】処理困難物、危険物、有害物質に対する対応方針の検討

- PRTR届出情報に基づく特定第一種指定化学物質の取扱事業所を抽出し、被災リスクを検討
- 水産系廃棄物の賦存量及び畜産系廃棄物に係る家畜等飼育状況の整理、平常時及び非常時の処理内容の検討

【課題】

- 化学物質の発生ポテンシャルの把握が必要

【検討事項】災害廃棄物の発生推定量、処理可能量の点検

- グランドデザインにおいて試算した南海トラフ地震発生時の災害廃棄物の発生推定量及び処理可能量の見直し点検、処理期間の検討

【成果】建物耐震化を踏まえた南海トラフ地震における災害廃棄物発生推定量の見直し

【検討事項】南海トラフ地震を対象とした処理方針の検討

- 南海トラフ地震発生時の処理フロー策定の考え方(地域ブロック別、都道府県別、平常時の処理ブロック単位)、今後決定すべき具体的な対応方針について整理

【検討事項】南海トラフ地震の被災府県における処理計画の記載内容の整理

- 被害が想定される都府県の処理計画における発生量や処理可能量、処理フロー等を整理・比較し、計画の矛盾、不整合点を抽出・整理
- 上記の内容に加え、初動体制、協定内容も含めてグッドプラクティス・バッドプラクティスを整理

【成果】処理計画のグッドプラクティス・バッドプラクティス集

【検討事項】南海トラフ地震における被害想定に関する基礎情報の整理

- 廃棄物処理施設等の被災リスクを考慮し、災害廃棄物の処理可能量を精査し、災害廃棄物処理上の課題を抽出・整理、今後のブロック別処理方針の検討に活かす。

【成果】一般廃棄物処理施設の被災リスクを考慮した処理可能量の算定

【課題】

- 四国ブロック等の処理については、処理が困難なことが予測されることから、ブロックをまたぐ広域支援体制について検討することが必要
- 浸水範囲内では津波被害に伴う津波廃棄物等の混合廃棄物の発生が想定され、浸水範囲外では地震被害に伴う片付けごみ、解体廃棄物等の発生が想定されるが、それぞれ処理方法が異なることを踏まえた処理方針の検討が必要

【検討事項】地域ブロック協議会の役割・機能の充実

- 地域ブロック協議会の平常時、災害時における活動事例の整理
- 地域ブロック協議会として取組むことが望ましい事項の整理

【課題】

- 地域ブロックをまたぐ連携に関する検討を行うことが必要

【検討事項】災害廃棄物対応の充実に向けた検討

- 災害廃棄物処理計画の実効性を高めるための検討事項等の整理

【検討事項】災害廃棄物対策指針の点検

- 点検項目の抽出、対応方針の検討

災害廃棄物対策指針検討ワーキンググループにおいて継続検討

【検討事項】過去の災害事例における支援の検証

- 平成28年熊本地震等における「プッシュ型支援」、「プル型支援」の特徴の整理及びその効果の検証
- 過去の災害事例における被災自治体毎のニーズを時系列で整理
- 同時多発化する災害への対応状況の検証

【検討事項】各主体の役割及び支援のマネジメントのあり方の検討

- 関係省庁や地方自治体、民間事業者等との協働のあり方の検討
- 被災自治体の支援におけるマネジメントのあり方の検討

【検討事項】効果的な支援のタイミングや調整のあり方の検討

- 大規模災害に備えた効果的な支援のタイミングや調整のあり方の検討
- 同時多発災害時における円滑・効果的な支援体制構築に向けた課題の整理等

【検討事項】平成30年7月豪雨の被災自治体の災害廃棄物処理計画の記載内容の検証、片付けごみの回収戦略に関する検討

- 被災自治体の災害廃棄物処理計画の記載内容の整理、被災自治体の初動対応の整理、課題や機能した点の抽出、処理計画に記載すべき事項等の整理
- 平成30年7月豪雨等の過去の災害経験を踏まえ、被災自治体が事前に検討すべき事項として片付けごみの回収戦略を検討

【成果】片付けごみの回収戦略

【課題】

- 災害時のごみ出し、分別等について、平時及び災害時において発信すべき情報や啓発・広報の内容、情報発信の手段等について整理し、自治体と自治会・住民・社会福祉協議会等との効果的な連携体制の強化が必要
- 処理計画策定後の実効性を高めるための仕組みの検討が必要

【検討事項】同時多発化する自然災害時における効果的な支援のあり方について

- 平成30年度の災害を振り返り、支援に当たって生じた課題を整理。整理結果を踏まえ、大規模災害時(南海トラフ巨大地震を想定)において被災地で生じる事態を想定し、円滑・効果的な支援体制を構築するための課題を抽出
- 支援経験を踏まえた現地支援チームのオペレーションマニュアルを作成

【成果】支援チームオペレーションマニュアル

【課題】

- 同時多発的に発生する災害に対する効果的な支援のあり方を検討し、支援の効率化に向けた具体的な取組を推進することが必要

【成果】災害廃棄物対策指針本編の改定

【成果】災害廃棄物対策指針技術資料の改定